



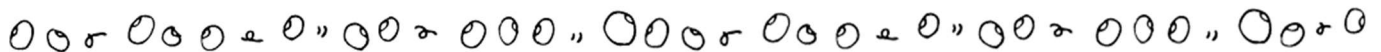
ももぐみだより

2022年2月1日
社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園



暦のうえでは、春ですが、寒い日が続いています。暖かい日はまだ遠いようです。そんな中でも子どもたちは、戸外遊びで「さむ〜い！」と言いながら笑顔で元気いっぱい体を動かして、過ごしています。最近、「先生、フラフープやりたい」「マット使いたい」など子どもたち自身で遊びを見つけ、友だちと互いに会話を楽しみながら遊ぶ姿が増えてきました。

今月も冬の空気を肌で感じつつ、気温や体調に気を付けながら楽しく遊べる環境を作ってまいります。



雪 あそび

年末年始の長いお休みが明けて、すぐに積もるほどの雪が降り、翌日には保育園の園庭が白一色となりました。午前中、みんなで外へ出ると、子どもたちは大興奮でした。「つめたーい！」と言いながらも、嬉しそうな顔で両手いっぱい雪を保持り、砂遊びの要領で山を作る、遊具のバケツに入れるなど雪の遊びを楽しんでいました。お家の方々と過ごす雪の時間とはひと味違った雰囲気を感じていたようです。子どもたちにとって、また一つクラスの楽しい思い出ができました。

かみしばい

4月の進級当初からクラスでは、たくさんの紙芝居を読んできました。はじめは、紙芝居に対して、興味や関心を持ってもらえるように内容が短く、分かりやすい作品が中心でした。最近では「先生、紙芝居読んで！」と言ってもらえるようになりました。今は季節の行事に因んだ物のほかに、日頃、行われている訓練を少しでも理解してもらおうと「防災」をテーマにした紙芝居を読んでいます。少し長めの内容となっていますが、終始、子どもたちは座って観ています。そんな姿から興味や関心を持ってもらえているなど感じています。

鬼のお面づくり

2月の節分に合わせて、1月の中旬からクラスでは「鬼のお面」を制作しました。事前に節分の絵本や紙芝居などを読み、イメージを膨らませてきました。テーブルの上に色とりどりの毛糸を用意されていると「これは何だろう？」と不思議そうな顔で席につき、先生に教えてもらいながら、少しずつ作っている物が「鬼」の顔になってくると周囲で観ていた子たちは「早く鬼作りたーい」と意欲的になっていました。出来上がったお面は、園で身に着けた後、お持ち帰りいただき、かわいい鬼の姿をご家庭で観ていただけたらと思います。



★クラスからのおねがい

- ・先述しているとおり、もも組の子どもたちは、寒くても外で遊ぶことが大好きです。外を走り回るだけでなく、マットの上や地面に寝そべったり、砂場で座って遊ぶこともあります。靴も上着も1週間で汚れてまいりますので、週末のお持ち帰り、お洗濯のご協力をお願いいたします。
- ・子どもたちの多くが、自分で着替えるようになりました。着脱の時、上着の袖の太さや首回りのサイズがタイトで着替えが難航していることがあります。子どもたちが着やすい服のご用意をお願いいたします。